

数学特論8 (学部)      レポート問題  
表現論大意 (大学院)

出題：2006年1月25日

(担当：野村隆昭)

\* [1] の (1),(2) と [2] のすべてに解答すること.

\* A4 レポート用紙にて数理事務室 (理学部本館4階) に提出のこと.

提出期限：2006年2月10日 (金) 17時 厳守

[1] (1)  $\lambda \in \mathbb{C}$  はパラメータで,  $\operatorname{Re} \lambda > -\frac{1}{2}$  とする. 微分方程式

$$y'' + \frac{2\lambda+1}{z} y' + y = 0 \quad \left( ' = \frac{d}{dz} \right)$$

の解  $y = y(z)$  で,  $\mathbb{C}$  上の整函数 (entire function) であり,  $y(0) = 1$  をみたすものが一意的に存在することを示せ. この一意解を  $j_\lambda(z)$  で表す.

ヒント: べき級数  $y = \sum_{m=0}^{\infty} a_m z^m$  ( $a_0 = 1$ ) から出発して次式を得よ:

$$y = \Gamma(\lambda+1) \sum_{m=0}^{\infty} \frac{(-1)^m}{m! \Gamma(m+\lambda+1)} \left(\frac{z}{2}\right)^{2m}$$

微分方程式の形から, 整函数解  $y = y(z)$  は  $y'(0) = 0$  となっていることに注意. 収束半径をチェックせよ.

(2)  $\mathbb{R}^n$  の単位球面  $S^{n-1}$  上の標準測度を  $\sigma$  とする (講義の通り). この測度のフーリエ変換  $\hat{\sigma}(\xi)$  ( $\xi \in \mathbb{R}^n$ ), ただし

$$\hat{\sigma}(\xi) := \int_{S^{n-1}} e^{-i\xi \cdot u} d\sigma(u) \quad (\xi \cdot u \text{ は } \mathbb{R}^n \text{ における } \xi \text{ と } u \text{ の標準内積})$$

を, 無限級数  $e^{-i\xi \cdot u} = \sum_{m=0}^{\infty} \frac{(-i)^m}{m!} (\xi \cdot u)^m$  を直接代入し, 項別積分すること (正当化すること) により計算せよ. 結果は (1) の  $j_\lambda(z)$  を用いて表せ.

ヒント:  $\xi \mapsto \int_{S^{n-1}} (\xi \cdot u)^m d\sigma(u)$  は, 回転不変な  $m$  次斉次多項式函数である.  $m = 2k$  のとき, それは  $\|\xi\|^{2k}$  の定数倍. その定数は  $\xi = \mathbf{e}_1 = {}^t(1, 0, \dots, 0)$  としたときの定積分の値  $\int_{S^{n-1}} u_1^{2k} d\sigma(u)$  に等しい (講義中に, より一般の積分を計算してある). 問 (1) の  $j_\lambda$  と比較する際に, ガンマ函数の倍数公式 (証明不要) を使う:

$$\Gamma(2z) = \frac{2^{2z-1}}{\sqrt{\pi}} \Gamma(z) \Gamma\left(z + \frac{1}{2}\right).$$

裏面に続く

[2] 各  $c = (c_1, \dots, c_n) \in \mathbb{C}^n$  と  $k = 0, 1, 2, \dots$  に対して

$$q_c^k(u) := (c_1 u_1 + \dots + c_n u_n)^k \quad (u = (u_1, \dots, u_n) \in S^{n-1})$$

とおく. また  $\mathcal{N} := \{c \in \mathbb{C}^n ; c_1^2 + \dots + c_n^2 = 0\}$  とする. このとき, 任意の  $c \in \mathcal{N}$  に対して,  $q_c^k \in \mathcal{Y}_k$  ( $k$  次の spherical harmonics の空間) であり,  $\mathcal{Y}_k$  は  $\{q_c^k ; c \in \mathcal{N}\}$  で生成されることを示せ.

ヒント: 講義で扱った  $\mathcal{Y}_k$  への回転群の表現  $T(g)Y(u) = Y(g^{-1}u)$  を考える.  
 $g \in SO(n, \mathbb{R})$  とすると,  $c \in \mathcal{N}$  ならば  $gc \in \mathcal{N}$  かつ  $T(g)q_c^k = q_{gc}^k$  に注意.

以上